

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月10日(土) Aブロック 1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Bコート 第4試合

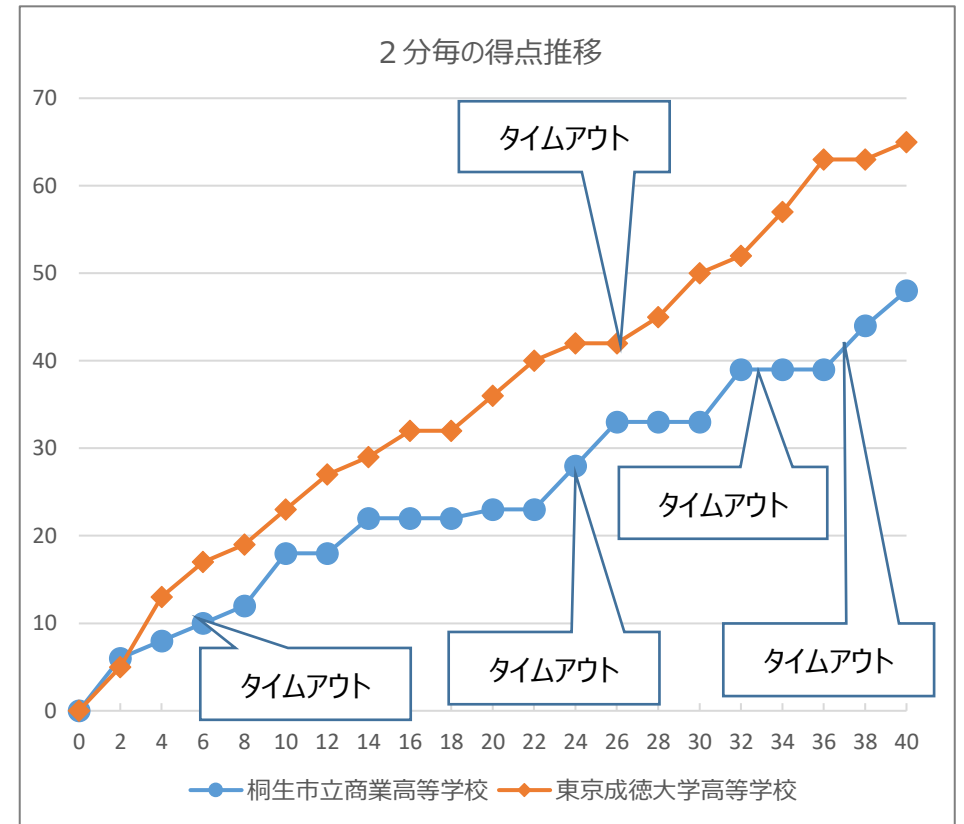
チームA		18	1st	23			チームB
桐生市立商業高等学校 (群馬県)	48	5	2nd	13	65	東京成徳大学高等学校 (東京都)	
		10	3rd	14			
		15	4th	15			
		OT					

Aチーム： 桐生市立商業高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		2	岩崎 有未	2	0	1	1	3	0	0	3	0	2	2
2		3	小川 らん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	*	8	金井 凜夏	13	0	2	5	19	3	3	2	3	11	14
4		10	町田 紗羅											
5	*	17	川上 里衣菜	3	1	4	0	1	0	0	2	0	0	0
6		18	沼崎 愛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		25	庚塚 葵衣											
8		26	落合 茉矢	8	1	3	2	7	1	2	0	2	4	6
9		29	大橋 実生	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10		30	千島 伊鞠	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11		32	関根 ゆず姫											
12	*	34	矢内 美帆	6	0	0	3	9	0	0	3	0	1	1
13		83	吉田 花梨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	*	86	高橋 美遥	9	1	8	2	9	2	4	0	0	4	4
15	*	87	柳 友愛	7	1	3	2	7	0	0	4	1	2	3
HC/TEAM				西條 佑治								0	7	7
合計				48	4	22	15	56	6	9	14	6	31	37

Bチーム： 東京成徳大学高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	奥山 奈津	8	0	3	3	8	2	4	2	3	12	15
2	*	5	高松 花菜	9	3	9	0	6	0	0	2	5	2	7
3	*	6	野崎 楓	2	0	4	1	3	0	0	1	1	7	8
4		7	山内 晴恵	12	3	6	1	8	1	2	2	3	8	11
5		8	岡田 愛羽	2	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1
6		9	福田 ひより	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
7	*	10	谷川 美音	17	1	2	6	9	2	2	2	4	6	10
8		11	鈴木 若菜	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1
9	*	12	加藤 凜音	10	1	5	3	6	1	2	2	2	1	3
10		13	恵良 みちる	5	0	4	2	5	1	2	0	1	1	2
11		14	今井 ひまり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		15	玉木 汐音	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	1
13		16	中里 杏奈	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14		17	清田 優心	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
15		18	小島 愛昊	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
HC/TEAM				小林 康裕								0	2	2
合計				65	8	36	17	52	7	12	13	20	44	64



戦評

記者者：青井 大樹 (山梨県高体連)

1Q、両者マンツーマンディフェンスでスタート。東京成徳は#5を中心に外角とインサイドから得点を重ねる。桐生商業は、ドライブとカットングプレーで攻撃するも、東京成徳の激しいディフェンスに対応できずタイムアウト。その後、セットプレーやブレイクで流れを断ち切ることに成功する。しかし、東京成徳のオフェンスリバウンドがゲームを優位にし、18-23東京成徳がリードで1Q終了。2Q、東京成徳はディフェンスから#13や#4の連続得点で主導権を握る。桐生商業は#8のオフェンスリバウンドや粘り強いディフェンスで東京成徳にペースを譲らない。東京成徳#4のオフェンスリバウンドとインサイドのプレーをきっかけにリードを広げ23-36で前半を折り返す。3Q、東京成徳は激しいディフェンスと#4、#10のゴール下からの得点で点差を広げる。その後、桐生商業#86や#34のドライブからの得点、#26のディフェンスリバウンドからブレイクが成功し桐生商業ペースに。東京成徳は流れを切るためタイムアウト。その後、東京成徳はクォーター終了間際に#7の3Pで点差を広げ33-50で東京成徳がリード。4Q、桐生商業がディフェンスから確実にリバウンドをとり、連続得点につなげ主導権を握る。怒涛の追い上げを見せるも、東京成徳の#10、#12のゴール下でのプレー、#12の連続得点で点差を広げる。その後、桐生商業は#87の3Pと#34のブレイクで点差を縮め、激しいボールマンプレッシャーをかけるも、東京成徳が落ち着いたゲーム展開を見せ試合終了。最終スコア48-65で東京成徳が勝利を収めた。

主審	第1副審	第2副審
赤羽 沙耶 (栃木県)	古屋 勝司 (山梨県)	浅田 茂 (山梨県)